

＜白梅学びのエリア教育目標＞ よりよい未来・主役は子ども

～ 「自立・貢献・共生・創造」、よりよい未来を切り拓く人を目指して ～



＜本校の教育目標＞ かしく・やさしく・たくましく

令和7年度

金沢小だより

3月号

令和8年2月27日

板橋区立金沢小学校

校長 神保 幸次郎

## 教育活動のアンケート結果をコミュニティ・スクール委員会で評議しました

校長 神保幸次郎

11月に実施したアンケートの結果を、学校評価の評議機関でもある金沢小学校コミュニティ・スクール委員会（以下「CS委員会」）で熟議しました。アンケートの結果をいくつか取り上げて、児童と保護者の回答で見比べられるよう記載します。また、考察とSC委員会のコメントについてお伝えします。

### 児童の回答



(2)読む、書く、計算するなどの力がついてきたと思う。



(6)学校のきまりや、社会のルールを守っている。



(9)学校でのできごとを家の人に話している。



(12)自分のよいところ、苦手なところを自分で知っている。

■ 当てはまる+やや当てはまる

■ あまり当てはまらない+当てはまらない

■ 分からない

※割合の合計はアプリの小数点以下の処理の関係で100%にならない場合があります。その他の結果のグラフを、ホームページに掲載しています。

### 保護者の回答



(2)学校は、学習活動を工夫し、読む、書く、計算するなど基礎的な学力の定着に努めている。



(6)家庭では、子どもが学校のきまりや社会のルールを守れるよう育てている。



(9)家庭では、子どもの話を聞く機会を設けている。



(12)家庭では、子どもの良き・苦手に対して、それぞれにサポートしている。

**設問(2)**「基礎的な学力」について児童の22%で課題があると感じています。個々の習熟状況を把握して個別に支援をしていきます。次年度は学力向上週間を各学期に設けて、特に漢字の習熟について集中的に取り組めます。

**設問(6)**児童の否定的回答14%は気になる数値です。道徳の時間や日々の生活指導を通じて、引き続き家庭と連携をしながら、子どもが正しい認識をもって判断と行動ができるようにしていきます。

**設問(9)**自分からは口にしないお子さんもいるかもしれませんが、これからは家庭で意図的に話を聞くことをお願い申し上げます。学校でも様々な教職員が話を聞く機会を日々作っていきます。

**設問(12)**自己肯定感や自尊感情、キャリア教育に関する設問です。学期のはじめと終わりに児童が目標・取組・自己評価を記録したシートをファイリングした「キャリア・パスポート」を学期末に持ち帰ります。お子さんのがんばりなどについて、認め・励ましの言葉を掛けてほしいと思います。

### CS委員会のコメント（一部）

- ・どの項目も評価が高く、教職員が経営方針を理解して、意欲的に職務に励んでいる成果の表れだと感じる。
- ・様々な取り組みを行っていることがわかると共に、現在の金沢小の取り組みがよく理解できた。
- ・最近の教育方針もさることながら、あいさつなどの基本姿勢まで取り組んでいるところも感心した。今後も地域の一員として学校教育のお手伝いができたらと思う。